

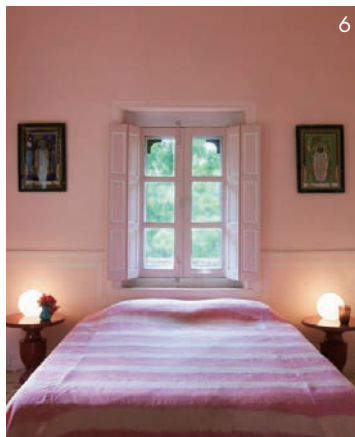
Home of Marie-Hélène de Taillac  
 マリーエレーヌのジャイプールの館へ

ジュエリー同様インテリアも、マリーエレーヌの手にかかると、インド様式がモダンなタッチに。ジャイプールでものづくりの楽しみをシェアする友人たちのデザインを、取り入れるのも楽しい



Profile

父の仕事の関係で中近東で幼少期を過ごす。14年間ロンドンのモード界で経験を積んだ後、旅先ジャイプールの街の魅力とジュエリーの文化にすっかり魅了されて移住を決意。1996年には自身の名を冠したファインジュエリーのブランドをスタート。今では東京、パリ、NYにブティックを構える。  
<https://mariehelenedetaillac.com>



- 2階に位置し、細長い作りのアパートの前には、広々としたテラス。天気によければクッションを並べて。緑の奥に見えるのが、ナライン・ニワス・パレス・ホテル
- ゲストルーム。ムガール建築特有の先がとがった円蓋を単純化した枠組みのベッドは、友人マリーアンのデザイン。椅子はリサイクル・プラスチックで編んだもの
- バスルームのインスピレーションは、ジャイプールから車で1時間30分ほど行った山の中腹にある、古い宮殿を改装したホテル、サモード・パレスのスイートルーム
- ブランドのカラーともリンクする、ブルーと赤でまとめたリビングルームで。友人がデザインするイドゥリー(p213)のシャツを着たマリーエレーヌ
- 悪を退け、富をもたらすヒンズー教の神様ガネーシャの像を部屋の一角に祀っている
- ベッドルームは、ジャイプール・ピンク。タイダイのベッドカバーもイドゥリー
- 書架も、ムガール円蓋の形をなぞってオーダーメイドした特別なデザイン

マリーエレーヌ・ドゥ・タイヤックが愛する家と街

夢見るジャイプール



パリを生活の、インド・ジャイプールをクリエイションの拠点とするファインジュエリー・デザイナー、マリーエレーヌ・ドゥ・タイヤック。彼女が、色にあふれ、職人技が根づく、ピンク・シティの魔法にとり憑かれたのは、20年以上も前のこと。彼女のジュエリー作りの原動力である魅惑の街へ、いざ——!

マリーエレーヌが得意とする「モダンなインドスタイル」を象徴するキッチン。伝統的ムガール建築ではターコイズブルーと白の配色が典型的だが、ここではリビングルーム(p211 4・5・7)と同じパウダーブルーを基調に。奥の壁には柱のトロンブリユを。テーブルとアルネ・ヤコプセンのチェアは、パリから運んだ

photography: Prarthna Singh text: Minako Norimatsu

「このアパートマンからは、ナライン・ニワス・パレスを見渡せる。初めてこの街を訪れたときに宿泊したのがこのクラシック・ホテルだから、無い戻って来た感じよ。」と、テラスの向こうに目をやる、マリーエレーヌ・ドゥ・タイヤック。彼女の顔を照らし出すのは、K22YGの丸い形のイヤリング。そして指を飾るのは、まるでキャンディのようなピンクトルマリンのリング。ころんとした形の石がむき出しになった、彼女特有のデザインだ。

ジャイプールに移住してジュエリー・ブランドを立ち上げたとき、あらゆる種類の職人の工房があるこの街で、彼女はジュエリーだけでなくインテリアでもすべてがオーダーメイドできることに楽しみを見いだした。と同時にその創造力を養ってくれるのは、ここで享受できるライフスタイルだ。彼女の日課は朝、庭を散策する孔雀やリスたちを眺めながらホテルのプールで泳ぐこと。その後は自宅に戻り、ハマム風のバスルームで身支度を。カラフルなキッチンで朝食を取ったり、車で10分ほどのアトリエへ向かう。タフナライン・ニワスに戻ると友人のブティック「イドゥリー」(p.213)に寄って新作を見たり、隣人と落ち合って「パルディオ」(p.213)で軽いディナーを取ることも。ちなみに隣人とは、ドレスのブランド「トッカ」の創設者で、数年前にインテリア・デザイナーに転身したマリーアーン・オーディエンスのこと。夜は早め、ピンク色のベッドルームにて就寝する。

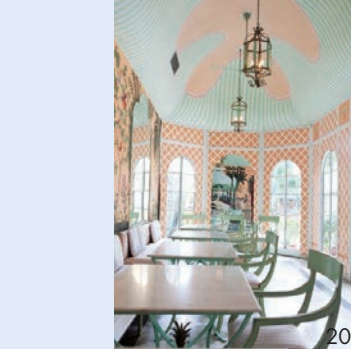
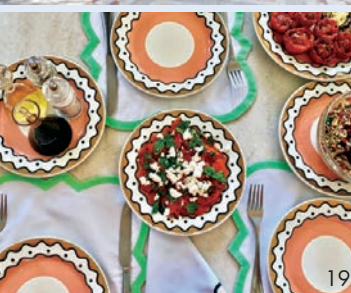
数年前にベイスをパリに移して以来、こんな毎日をジャイプールで過ごすのは一年のうち4カ月ほどだが、今でも昔ながらの魅力があり、世界中からクリエイティブな人々が集まるジャイプールが、大好き」と、マリーエレーヌは断言する。彼女にとってこの街での日々は、初心に帰ってクリエイティブな日々を刺激される、大切な期間なのだ。

創造性を刺激する、ジャイプールの日常



## Jaipur by Marie-Hélène de Taillac マリーエレーヌの愛するジャイプール案内

ローカルでござった返すバザールから豪華なジュエラーまで、ジャイプールは買い物天国！  
ここでは実際にマリーエレーヌの日常に欠かせない行きつけアドレスを紹介



## カオスから宝物を見つける楽しみ Saurashtra Impex

インドでは、テラーに服やクッション、  
ーテンなどを仕立てさせるのが一般的。マリ  
エレーヌもよく利用しているのが、この生地と  
キスタイル製品の総合店だ。彼女のおすすめは  
ドハーと呼ばれる薄手コットンのブランケット



12 カーベットやバジャマも人気。羊のラグは45%  
13・14 ブロックプリントなど、生地が山積み

**DATA** ソラシュトラ・インベックス ● Shop  
No-7, & 8, Inside Jorawar singh Gate, Opposite Ayurveda  
College, Amer Road ☎+91 98280 63565  
◎10時30分～20時 無休

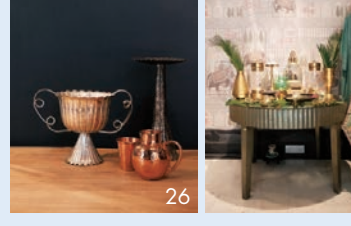
## 行きつけのバーとカフェは、親友による内装 Bar Palladio / Caffé Palladio

インド特有の花束の装飾が目印の、パラディオ。6年前にできたバー・  
パラディオは、イタリア料理とカクテルが、続いてオープンしたカフェは、  
トルコ料理のランチがウリだ。「2軒とも見どころは、マリアンが手が  
けた壁画。彼女が手がけたお皿やリネンも素敵」と、マリーエレーヌ。

**DATA** バー・パラディオ ● Narain Niwas Palace, Kanota Bagh,  
Narain Singh Road (中庭左、ホテル手前) ☎+91 141 2565556  
◎18時～23時 無休  
カフェ・パラディオ ● 100 JLN Marg, Santha Bagh ☎+91 141 2563533  
◎12時30分～22時30分、10時30分～22時30分(日) ◎火曜

## 地球にやさしいインテリアグッズ GOOD EARTH

ホテル「ラージマハル」併設の同店では、ブラン  
ド名のとおりすべてがエコフレンドリー。イン  
テリアからウェアまで、ハチミツやスキンケ  
ア用品など一部を除いては、いずれもオリジナ  
ル。マリーエレーヌも、「常に新作が見つかるから  
楽しい」と食器を集めている。



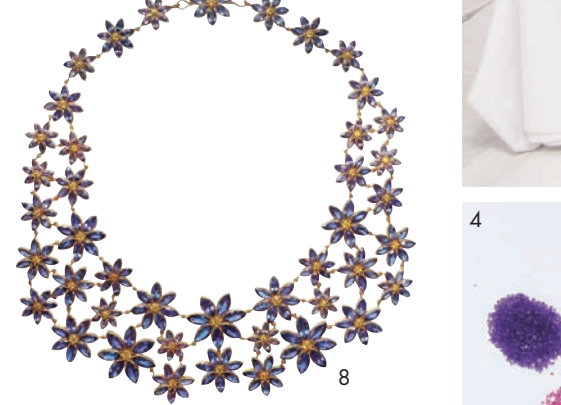
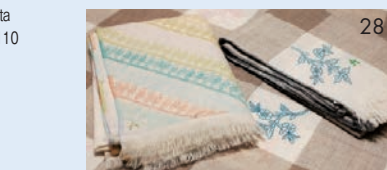
25 モルディブをテーマとした新作ディスプレイ  
26 銀や銅の小物 (4800Rs～) 27 新作食器  
**DATA** グッドアース ● Sujjan Rajmahal Palace,  
Sardar Patel Marg ☎+91 141 4086542  
◎11時～20時 無休

## 最高品質のカシミアならここ Andraab

インドにカシミアショップは数あれ  
ど、ラダーク地方チャンタン高原のヤ  
ギの毛を使い、カシミア地方の手織  
りにこだわるアンドラアブ。「ここ  
のショールはとにかく軽く、ソフトで暖か  
い」と、マリーエレーヌも絶賛。

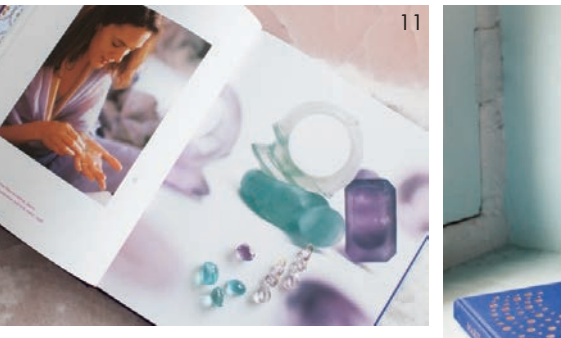
28 手で織刺しを施した、大判の  
カシミアショール(3000Rs～)  
29 定番デザインのストール。手前の  
シャンブレー風無地のマフラーは  
12800Rs、もちろんカシミア100%  
30 ハヴェリー(タウンハウス)風の店内

**DATA** アンドラアブ ● Narain Niwas Palace, Kanota  
Bagh, Narain Singh Road (正門左奥) ☎+91 141 2570110  
◎10時～20時 無休



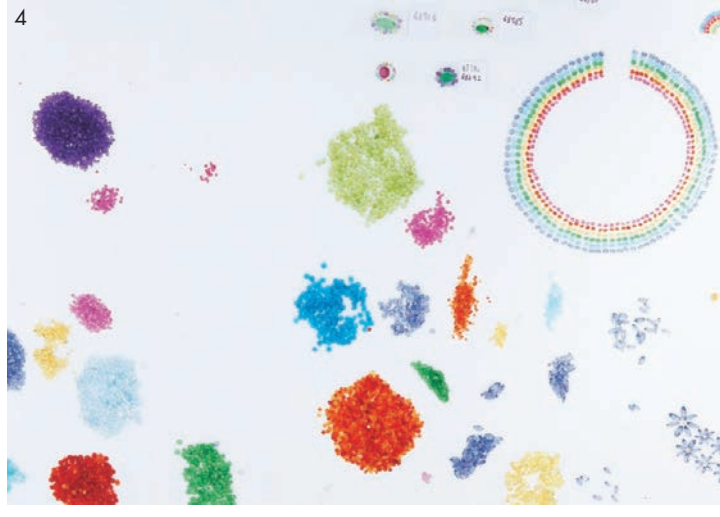
## JEWELRY

マリーエレーヌ ドゥ タイヤック (MHT) の  
新作2020年春夏コレクションでは、彼女の  
永遠のテーマ「レインボー」がさらに充実  
5 K20YGのエナメル細工ペンダントトップ  
6 K20YGにダイヤモンドの、タツノオトシゴ  
チャームは毎年増えるコレクターズアイテム  
7 「ポリウッド・ジャリ」レインボウ・  
イヤリングを彩るのは上からアクアマリン、  
ツァボライト、イエロー・サファイア、  
ファイヤーオパール(2色)、ピンク・  
サファイア、アメシスト、そしてタンザナイト  
8 ネックレス「ブルー・ガーデン」は  
タンザナイトとイエロー・サファイアで



## Atelier of Marie-Hélène de Taillac ようこそ、新しいアトリエへ

今年の初めに引っ越したばかりの、マリーエレーヌの新しいオフィス兼アトリエ。  
この空間では、虹色とニュートラルな白が、絶妙なバランスで融合している



## ATELIER

- 1 インド式に床に座って作業をするデザインルームでは、床一面を  
覆うマットも壁も、石に他の色が反射しないよう真っ白に統一。  
隣は姪で彼女の右腕、ジャイプール在住のクレール・ドゥロー
- 2 マルチカラーの棚は、もちろんオーダーメイド。取っ手には、  
青みがかった乳白色が美しい石カルセドニーを選んだ。そして  
オフィスにも欠かせないのが、ミニマルなデザインのガネーシャ
- 3 応接コーナー。50sの椅子は、イドゥリーの生地で張り替えて。  
シルバーと鉱石のテーブルとカーベットも、マリーエレーヌの考案
- 4 インスピレーションは、石と向き合うことから生まれると語る

## BOOK

9 マリーエレーヌの作品集  
『GOLD AND GEMS The Jewels of  
Marie-Hélène de Taillac』  
(Rizzoli New York刊)はケースつき  
ハードカバー、224ページ。日本の  
直営店では日本語訳冊子つき  
(9,200円)を販売。日本でもサイン会を予定。  
●伊勢丹新宿店本館3F  
MHT ISETAN 12月7日(土)14時～17時  
●阪急うめだ本店3F  
MHT HANKYU UEDA  
12月8日(日)14時～17時  
10 本より、クレールが手がけたMHT  
パリのウインドー  
11 創業当時のマリーエレーヌ

